

より早く、よりの確に内容をとらえるために、Question と Keyword による Index をご利用ください。それぞれ各論文の要点を示す質問とキーワードで構成されています。

Question

Q1 検査も思うようにできない在宅での診断は難しいのでは？	826
Q2 在宅では、気管内吸引をヘルパーに教えてよいのですか？	832
Q3 患者が誤嚥を繰り返す、嚥下が不良だ、という場合の対応は？	836
Q4 在宅での褥瘡と壊疽のケアの違いは？	840
Q5 在宅で発熱患者をみる時のポイントは？	843
Q6 担癌患者の痛みが増してきた時、どのように対応すればよいか？	846
Q7 認知症の患者では、どのような対応が望ましいのでしょうか？	850
Q8 HMO(在宅人工呼吸器管理)、HPN(在宅中心静脈栄養法)を導入する時に大切なことは何ですか？	852
Q9 在宅酸素療法の必要性は、どのように判断したらよいのでしょうか？	855
Q10 カテーテル交換のポイントは？	858
Q11 在宅医療にあたって何らかの支援が必要と思われる患者さんがいるが、まず何をすればよいのか？	861
Q12 在宅高齢者の肺炎を予防するには？	864

Keyword

NST	836	減額・減免申請	861	日常の診察の重要性	826
WHO 三段階除痛ラダー	846	後方病院との連携	843	尿道損傷	858
WHO の 5 法則	846	在宅医療	850, 855	認知症	850
医行為	832	在宅医療の特徴	826	脳の器質的要因のルールア ウト	850
胃瘻	836	在宅か入院か	843	肺炎球菌	864
胃瘻瘻孔破損	858	在宅酸素療法	855	肺炎球菌ワクチン	864
インフルエンザ	864	社会心理的要因	850	非課税世帯	861
栄養管理	836	重症下肢虚血	840	病診連携	852
栄養障害	836	障害者手帳	861	腹膜炎	858
壊疽	840	褥瘡	840	不顕性誤嚥	864
大浦・堀田(OH)スケール	840	摂食嚥下障害	836	包括的呼吸リハビリテー ション	855
介護環境の考慮	826	前立腺炎	858	訪問看護ステーション	852
介護職	832	退院前後のケア担当者 会議	852	慢性呼吸不全	855
介護保険	861	タイトレーション	846	身分法	832
看護職	832	地域包括支援センター	861	予備備品の準備	852
感染(炎症)臓器の推定	843	チーム医療	832		
緊急時の対応策	852	鎮痛補助薬	846		
緊急性の判断	843	トータルペイン	846		
携帯型診療機器	826				